



特選

(小学生一・二年生)

王寺町立王寺南小学校 一年 山崎 楓真

にじいろくわがた
ぼくといつしよでよくうごく

講評

最初に「にじいろくわがた」ときたので、美しいそのクワガタが大写しになった。そして、「ぼくといつしよに」で「ぼく」もクワガタになった感じ。クワガタもぼくも美しいうごき！



特選

(小学生三・四年生)

神戸市立高羽小学校 四年 山崎 穂果

ぼくはここ
気づいてほしいせみが鳴く

講評

ぼくに気づいてほしいと思っているそばでセミが鳴いている。あるいは、ぼくに気づいてほしいセミに言っているのか。どちらの読みでもいいが、前の読みのほうが、俳句の世界を広くするだろう。



特選

(小学生五・六年生)

大阪市立北田辺小学校 五年 中田 千尋

父とゆく
自転車にのって市民プール

講評

夏のある日の風景。父と自転車にのってゆくのはどこか、と思つてその後を読むと、そこは市民プール。ごく普通の場所だが、父と自転車で行くので、とびきり特別の場所になったのだ。誇らしい気分で自転車をこいでいる感じがする。



特選

(中学生)

三田市立狭間中学校 三年 川野 里帆

私もね
若葉のよりに水がいる

講評

みずみずしい若葉の中にある「私」。その「私」の思いがこの句。自分に言い聞かせているのか、あるいはだれかに伝えているのか。若葉のような水が「私」の心身に満ちて、「私」自身が若葉のようになる感じがすてきた。



準特選

(小学生一・二年生)

カマキリさん雨のシャワーでかおあらう

八幡市立橋本小学校 二年 長谷川 み月

講評

「雨のシャワー」という表現が雨をととても楽しいものにした。カマキリさんという呼び方からカマキリを友だちに行っていることが分かる。カマキリといつしよにわたしも洗っているのだろう。

かぶとむしぼくといつしよにゼリーたべ

神戸市立美賀多台小学校 二年 岩館 蒼生

講評

ゼリーをいつしよに食べた、というところがいいなあ。かぶとむしとぼくは仲間、だから同じものを食べるのだ。



準特選

(小学生三・四年生)

妹が生まれた夜はまん月だ

長浜市立長浜北小学校 三年 塩田 心結

講評

妹が生まれた喜び、そして妹にたいする期待感などが「まん月」にたくされている。とてもすてきな満月の夜だ。

なみがひき二ひきのかにがのこつてた

大阪市立鷺洲小学校 三年 廣田 咲羽

講評

波打ち際の風景。二ひきの蟹は友だちどうだろうか。濡れた砂をほう蟹が絵のように見える。蟹は夏の季語。



カブトムシ一緒に生きたなつやすみ

大和高田市立陵西小学校 五年 森村 琉世

講評

カブトムシと「一緒に生きた」がいいなあ。夏休みの間、作者は「カブトムシ命」だったのだろう。

かなぶんが伝えてくれる虫電話

藤井寺市立藤井寺西小学校 六年 小野 絢司

講評

「虫電話」とは虫たちが使っている電話だろうか。その電話の内容をカナブンが伝えてくれるのだ。たとえば、クワガタが間もなくここへやってくる、という情報などを。想像の広がる楽しい句だ。





盆に会う曾祖母元気百二才

豊中市立第五中学校 一年 米塚 隆人

講評

「百二才」という年齢を示したのがよい。この年齢から、曾祖母の元気ぶりが具体的に変わった。

部活あとラムネの泡で生き返る

守山市立守山南中学校 二年 壺井 碩太

講評

ラムネは今ではやや古風な飲料という感じがするが、ラムネの好きな中学生がいると思うと、なんだかうれしい。人や飲料の多様性を感じるからだろう。ともあれ、ラムネの泡がシュワツとして快い。

弟の甲虫にも名前あり

岩出市立岩出中学校 二年 前北 奈津

講評

カブトムシに名前をつけて飼っている弟。その弟のカブトムシ好きを肯定的に見ている兄(あるいは姉)。きょうだいのやさしさが快い。





かぶとむしよくごはんたべよくねたね

大津市立志賀小学校 一年 多和田 颯

せみないてあかるいそらをたのしんで

大阪市立新森小路小学校 一年 市来 遙真

けんこうにすこせますようあまのがわ

藤井寺市立藤井寺西小学校 一年 築野 莉奈

うちにはねさなぎになつてるちようがいる

大津市立仰木の里東小学校 二年 山下 七海

シラサギは田んぼのいねをまもってる

大津市立仰木小学校 三年 上阪 頼大

かたつむりわたしのうでがさんぽみち

私立四天王寺小学校 三年 大崎 凜子

じいちゃんのかわをふりあげ草畑

神戸市立高羽小学校 三年 川崎 俊哉

百年後川原にいるかなアマガエル

京都市立下京渉成小学校 四年 今田 翔聖

おじちゃん戦争体験語る夏

堺市立英彰小学校 四年 紀 このみ

カブトムシうまれたたまごみとどける

神戸市立枝吉小学校 四年 仲岡 陸

おじいちゃん畑の野菜ありがとう

神戸市立六甲小学校 四年 古川 美結

生きているああ生きているおじぎそう

大阪市立城東小学校 五年 藤原 柚輝

かめむしもくさいけれどいきている

大津市立雄琴小学校 三年 清水 智吏

ぼくの畑野菜生き生き菊かばちや

大津市立志賀小学校 三年 遠藤 直規

あついでぎゅつとしたいよおかあさん

大阪教育大学附属平野小学校 三年 森本 圭亮

大切にすくったきんぎよ育てるよ

大阪市立鷹合小学校 三年 平松 逞真

アゲハチョウ毎年たまごうみにくる

大阪市立島屋小学校 三年 菊地 公美香

たんぽぽよ命のリレーつなげよう

門真市立門真小学校 五年 谷 悠帆

目がさめたハチさんどうぞミツすつて

門真市立門真小学校 五年 三原 綺音

目をこすり立ち会いましたせみの羽化

神戸市立南落合小学校 五年 青木 陸輝

かぶとむし手のひらくすぐるたしかな命

姫路市立荒川小学校 五年 森園 怜

ツバメの巣こわさず捨てず大切に

王寺町立王寺南小学校 五年 野間 琉花

階段にムカデ一匹ドンドンポン

東吉野村立東吉野小学校 五年 威徳 琴音

田をのぞくおたまじゃくしに足がはえ

京都教育大学附属京都小中学校 六年 長田 直理



きらいでも育てたなすびいとおしい

大阪市立鷺洲小学校 六年 宇野 栄一郎

よおきたな二度と聞けない祖父の家

神戸市立高羽小学校 六年 川崎 結生

夏の森日ざしがあたる木立ちたち

伊丹市立伊丹小学校 六年 牧尾 悠真

おおばあの戦争体験知る命

伊丹市立池尻小学校 六年 秋田 百々葉

食べてみて私が育てた夏野菜

神戸町立越知谷小学校 六年 築山 あかり

母さんと背丈が同じになった夏

栗東市立栗東中学校 二年 飯塚 咲真

金魚さん朝のおはよう十年目

豊中市立第五中学校 二年 内田 海咲

「産まれたよ」秋晴れの日に母のメール

岩出市立岩出中学校 二年 小西 乃々花

夏野菜輝く畑に祖父の影

長浜市立虎姫中学校 三年 尚永 千歩

春風に勇気をもらい歩き出す

長浜市立虎姫中学校 三年 森 ななみ

言いたがり「生姜が効くぜ」ばあちゃんよ

野洲市立中主中学校 三年 大橋 幸太

ふと見上げ枝の先には春仕度

私立東山中学校 三年 奥村 理喜

夕立ちが降る中走る救急車

守山市立守山南中学校 一年 勝間 亮翔

夏祭り彼と目が合い深呼吸

茨木市立太田中学校 一年 小柳 夏姫

憂鬱な君に贈るよカキツバタ

尼崎市立南武庫之荘中学校 一年 中村 彩乃

被災地へ甘柿送る文そえて

丹波市立氷上中学校 一年 竹内 椿

美しき雷雨の後の積乱雲

守山市立守山南中学校 二年 小谷 史

雪降ると姉はいつでも五歳児だ

堺市立大浜中学校 三年 高山 彩代

庭先で猫になりきる春の午後

神戸市立友が丘中学校 三年 石元 愛海

春風と自分の心シンクロだ

海南市立第三中学校 三年 児島 隆之介